

平成 30 年 10 月 18 日

極東貿易株式会社

代表取締役社長 三戸 純一 様

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平生は、株主としての私共との対話を行っていただき、ありがとうございます。

さて、先月ご面談いただいた際にもご説明申し上げましたが、当社の EV/EBITDA 比率は、2 倍強となっています。一方で、当社が行う M&A としてはこの比率が 15 倍程度までは検討の対象とされるとのことでした。

私共は、株主として、適正価格での M&A を推進していただくことに異論はありません。しかしながら、現在の当社の株価と現金保有状況に鑑みれば、EV/EBITDA 比率が 10 倍以上の企業の株式を買うよりは、これが約 2 倍と異常に低い評価の当社株式を自社株買いすることの方が、明らかに合理的な経営判断であります。

9 月初旬よりは、当社の株価も多少は上向いた状態ですが、解散価値を大きく下回っていることに変わりはありません。

例えば、現在の東証一部上場（金融を除く）の平均 EV/EBITDA 比率は、7.5 倍です。少なくともこの比率を下回っている限りは、自社株買いを継続すべきです。

また、当初から弊社の意見としてお伝えしております通り、私共は株主として、当社の課題の一つは上場株式の過大な保有であり、これらの株式は早期に全株売却すべきであると考えております。他社の株式を買ったまま保有するのではなく、自社の株式を買って消却していただきたいのです。

何故、当社取締役会がこの合理的判断をされないのか、私共は理解に苦しんでいます。当社株主価値向上のため、是非とも迅速なご決断をお願いいたします。

株式会社ストラテジックキャピタル